

ふかまのまど

第三回 三原市月例・令和四年十月
発行元 深町連合町内会
連絡先 六三三・三九二

連合町内会だより

市長との「みらいトーク」に参加して

深町連合町内会
会長 天木 雅之

この度三原市より、岡田市長と「みらいトーク」の案内がありました。当初は、八月二十六日(金)に予定していましたが、市内における新型コロナウイルス感染者数の急激な増加により開催が九月二十九日(木)に変更されました。

三原地域の、活動中核組織13組織のうち7組織が対象(木原連合町内会・中之町連合自治会・三原市東部連合町内会・本町連合町内会・皆実連合町内会・西小学校区町内会連合会・深町連合町内会)の代表者各一名の参加者で開催されました。

①コロナ禍における地域活動(祭り・サロン・防災活動など)の実施状況について。
②アフターコロナにおける地域活動の進め方について。
③住民組織を維持するうえで課題となっていること(加入率・役員等の人材不足、住民同士の関係性)などの議題で質疑応答がありました。

他の団体もここ数年コロナ禍の為、活動は行われていませんが今までの活動経過などの発言がありました。深町も活発な各種団体の活動報告(ふかまのまど・城山サロン・あおば会・サロン深つかふか・民生委員)などを発表しました。

岡田市長からは、各種団体に、コロナに負けないでより一層の発展に努力していただきたいとエールをいただきました。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょ。

深小の子供は



○午後三時半過ぎに下校します。

※下校時間は日によって異なることがあります。

○近頃の道ばた、みんぱは見守りましょ。

○あいせつ

声かけをましょ。

如水館中学高等学校だより

第63回全日本吹奏楽コンクール中国大会出場

如水館中学・高等学校
吹奏楽部
部長 吉田 すもも

私たち如水館中学・高等学校吹奏楽部は、現在、高校生45名、中学生8名で活動しています。

今年度の大会実績は、8月に行われた第63回広島県吹奏楽コンクール高等学校A部門で20回目の「金賞」を受賞し、さらに広島県代表に選ばれ、第63回全日本吹奏楽コンクール中国大会高等学校A部門に出場することができました。また、9月に開催された第20回西日本バンドフェスティバル2022 in ヒロシマに中国地区代表として出場させていただきました。

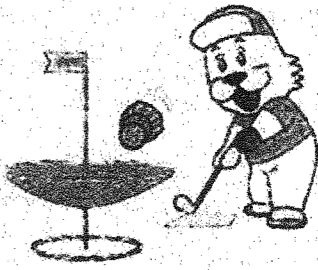
その他の活動では、6月には三原市立第2中学校の「ようこそ先輩」でのコンサート開催、また、10月には三原市中之町小学校での「ホール開演予定」です。

「ホールの奥まで届く息」を合言葉に、聴いていただく方々に、感動してもらえらる演奏ができるよう、高校生と中学生が意見を出し合い、協力しながら活動していきます。現在は、12月に開催される第46回広島県アンサンブルコンテストに向けて練習しています。

年度末の3月には、今年度メンバーでの最後のコンサート「第26回定期演奏会」を開催する予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

TBG協会だより

三原市月例・令和四年十月
ターゲット・
バードゴルフ大会



三原市TBG月例会大会が、十月十五日(土)に十七名の参加で深町・城山コースにて行われました。成績は、次の通りです。

- 一位 船本 雄三
- 二位 谷岡 義昭
- 三位 竹ノ内 洋子
- ベスグロ 六十七 船本 雄三
- 二人戦 一位 林 洋祐

※選手の敬称略

次回は、年大会第九回三原市ターゲット・バードゴルフ大会を十一月六日(日)に、行います。

TBG協会
会長 船本 雄三

お詫びと訂正
先月号で、三原市月例・令和四年十月と記載しましたが、正しくは三原市月例・令和四年九月です。お詫びし訂正いたします。

三原市社会福祉協議会・高齢者相談センター「どりいむ」共催で、深町地域福祉懇談会が開催されました。それぞれの活動の様子や気付き、課題について意見交換した内容を町内のみなさんに広く知っていただければと思います、まとめてみました。

中組 町内会長 安藤 志保

R4深町地域福祉懇談会

2022.9.23(金) 10:00~12:00 町民会館
参加者 19人

参加者を増やしたい!

- NG (No Good) 参加者減少
- ハードル課題 (参加者減少)

協力者を増やしたい!

- 月1回、時々でもOK!
- 各種活動に相互に連携
- 具体的なお願いから
- つながりのない人から

今後の方向性

- 情報交換 益々
- 若い人への呼びかけ
- 町内への呼びかけ

活動の様子

- 連合町内会: 計画はするが、コロナで中止
- はなみずき会: 前回の会(コロナ)4時間、食事も、お楽しみ会も開催...
- 城山サロン: 食事会 → 休止、お楽しみ会 → 開催、大々的イベント開催(深町8人、14名参加、5人参加、お楽しみ会開催)
- どりいむ: 深町課題、伊東2名、隣町1名、SOS相談、(お楽しみ会)開催、お楽しみ会、お楽しみ会、お楽しみ会
- 民生・児童委員: 専門職との連携、学校の交流、コロナで中止、お楽しみ会開催
- 女性会: 高齢化、新しい人加入、お楽しみ会開催、お楽しみ会開催
- 深町あおば会: 町内会が中心、お楽しみ会開催、お楽しみ会開催
- サライズ大地: 1999年〜22年、コロナで中止、お楽しみ会開催
- サロン深つかふか: お楽しみ会開催、お楽しみ会開催

謹んでお悔やみ申し上げます

高橋 幸久様 六十六歳
(中組 峠講) 十月十六日

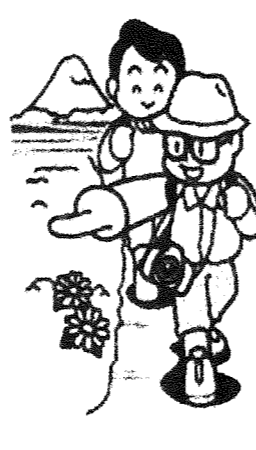
深町各種団体十一月行事予定

- 小学校
 - 道徳参観日・清掃活動 四日
 - 委員会 七日
 - 校内漢字検定 二二日
 - 発表参観日 二五日
 - さとうきび収穫 二九日
- 如水館中学・高校
 - 身だしなみチェック 一〜七日
 - 委員会(中) 二日
 - 漢字検定 四日
 - 舞台芸術公演・リジョン 五・六日
 - 学年朝会(高二) 九日
 - 学年朝会(高一) 十日
 - 学年朝会(高一) 十日
 - 学力診断(中) 一一日
 - 数学検定 一九日
 - 期末テスト(高) 二五〜三〇日
 - 期末テスト(中) 二八〜三〇日

歩く会(ニ)参加を

歩く会幹事
石井 堂照

本郷町 三景園



(年齢を示すもの持参)

月日 十一月二十二日(火)
予備日 二十九日(火)
行程
九時〇〇分 深町上組公民館発
十時〇〇分 三景園探訪(空の駅へ)
十二時〇〇分 探訪終了 昼食
十四時〇〇分 深町上組公民館着(車)

※ニチエー中之町店コミュニティボックスへのレシート投函についてご協力いただき大変ありがとうございます。

歩く会への参加をお願い致します。どなたでも、どの回でも参加自由です。(ガンリン)代負担は、¥120)

64-8668 石井

サロン深つかふか

協力者一同
11月担当 渡部 純子

9月〜10月も、いきいき体操・かみかみ体操・フラダンス・ボツチャ・脳トレ・歌等、いろいろな活動を行いました。

内容をいくつか紹介します。

- いきいき体操
手足の筋力向上を目指した体操です。筋力がつくと立ち座りや階段上り下りが楽になり、転倒しにくくなります。毎回行っています。
- かみかみ体操
首や肩の運動、口・頬・舌のストレッチ等を行います。食べる力や飲み込む力をつけます。
- 脳トレ「隠し絵(だまし絵)」
何に見えますか？



毎週ゆるく楽しく活動しています。まだ参加したことのない方もどうぞお気軽にご参加ください。

11月の予定

水曜日10時〜11時30分
・2日・9日・16日・23日・30日
9日・16日は作品展も併せて行います。23日はプチ講座です。

- 9日・16日 作品展
初めての試みとして、ハンドメイドの作品展を行います。今回はパッチワークの作品展です。ぜひご鑑賞ください。
- ・9時30分〜12時まで展示しています。自由に見学してください。
- ・当日、体操や各活動も行う予定です。
- 23日 プチ講座(スマホ教室)
8月に第一回スマホ教室を行い「今まで困っていたことが解決してよかった」等の声を頂き、第二回プチ講座もスマホ教室を開催することにしました。

- ・LINE(ライン)で年賀状をつくらう。
 - ・スマホの使い方について質問タイムなど。
- ※詳細は回覧チラシをご覧ください。

持ってくるもの
・飲み物・室内シューズ
・長いタオル(体操に使います)
インスタグラム
<https://www.instagram.com/fukamachiachanoma/>

問い合わせ先(安藤)
0901526513855



高齢者相談センター

どりのいむだより

三原市高齢者相談センターのりいむだより
三原市中町6丁目31番1号

電話 61-4410

災害への備えはできていますか？

平成30年の西日本豪雨災害時、大変な思いをされた人もいらっしゃるのではないのでしょうか？災害がおきた時に、どこに、誰と、どうやって避難するか、何を持っていくかが大切ですね。

今回は、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方の日頃の備えについてお伝えします。

事前にはハザードマップで自分の家があるか確認しておきましょう。

家族や近所の人と普段から災害時のことを話しておきましょう。
離れて暮らす家族と安否の方法(災害用伝言ダイヤル171など)を決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル(171)
電話が通じない時の連絡方法です。安否情報(伝言)を音声で録音し(登録)、全国からその音声を再生できます。

防災チェックシート

「自身で備えるもの」、「地域に避難支援をお願いすること」、「福祉・介護のサービスで対応すること」を明確にすることができ、個別避難計画として自主防災組織、町内会等の役員や近隣の人と共有することで、災害時の支援や安否確認に活用できます。

- ◆家の中の安全対策
・室内の安全性を高める
・家具等が倒れないよう留め金をつける
・防火対策・住宅用火災報知器、住宅用火器の準備
- ◆これだけは準備しておきたい！(家庭版)



品物	チェック	品物	チェック
飲料水 *3日分(1人1日300ml目安)		簡易トイレ(缶砂)	
食料(日常備蓄) *3日分		使い捨てカイロ	
スマートフォン、携帯電話の充電器		家族写真・情報	
ポリ袋		LEDライト	
薬・処方箋のコピー		マスク	
ウエットティッシュ		卓上コンロ・ガスボンベ	
歯ブラシ・洗口液		ラップ(食品包装フィルム)	

防災チェックシート(記入例)

避難行動要支援者避難支援プラン(個別避難計画)
防災チェックシート(風水害時)

氏名		住所		電話番号		生年月日		必要支援			
ふりがな	みはら はなこ	住所	〒723-0000 三原市 港町三丁目5番1号	電話	0848-00-0000	FAX	0848-00-0000	生年月日	明・大・●・平・令 00年 1月 1日生 (80)歳	必要支援	なし・車椅子・筆談・翻訳・その他()
性別	男・☉	世帯人数	1人								

自宅の災害リスク	土砂災害・洪水・高潮・津波・その他()
災害のおそれがあるときの行動	自宅2階・蔵庫宅()・避難所(〇〇集会所)・ショートステイ等施設(△△ホーム)・その他()
緊急連絡先	三原 市郎(子) 0848-00-0000(日中は仕事しています) 本郷 花子(妹) 090-0000-0000(夜間は外出できません)
地域で関わりのある人	久井 一子 0848-00-0000(サロンに一緒に来ています) 大和 二男 090-0000-0000(隣の畑によく来ています)
必ず持ち出すもの(常備薬等)	血圧の薬 老眼鏡
関わりのある専門職(主治医・ケアマネ等)	△△病院 ●●居宅介護支援事業所(〇〇ケアマネジャー)
備考	

この内容を避難支援関係者、福祉専門職、行政等と共有し、平常時の避難訓練と災害時の避難支援等に活用されることを承諾します。また、災害時の避難支援について、避難支援関係者にその責任を問いません。

【避難の留意事項(ハザードの状況、避難経路等)】

- ・家の玄関前の山が土砂崩れのおそれがあります。
- ・高齢者等避難が発令されたら早めに避難します。
- ・念のため、勝手口から避難できるよう、非常持ち出し袋と履きなれた靴は勝手口に置いています。
- ・山から離れれば安全なので、見通しの良い道を通って避難します。

【特記事項(避難支援で配慮すること)】

- ・大雨が予測される時は、普段からショートステイで利用している△△ホームに行く予定です。
- ・△△ホームが利用できないときは、いつもサロンで行っている〇〇集会所に避難します。
- ・避難するときは、久井一子さんの家族の車に乗せてもらうようお願いしています。

新修 深郷土誌より(続き)

深太鼓踊り

深太鼓踊りは、豊作祈願(雨乞い、雨お礼)、家内安全等を願って盆を中心とした実施されている。

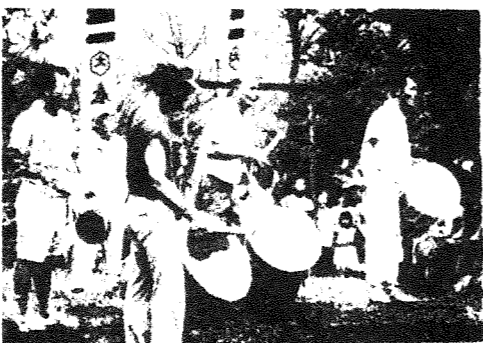
起源は詳らかでないが、室町幕府を開いた足利尊氏が戦いに敗れ九州に下り、そこで戦力を整えて再び京へ攻め上がる際、尾道の浄土寺にて戦勝祈願した折、付近の住民が前途を祝って踊ったとされていることから、当時から行われていたと考えられる。

その後は各地区毎に実施され、県無形文化財指定の吉和・木ノ庄東を始め、木頃、原田、久山田に於いても特色を持って継承されている。

深町に於いては、旧村時代には各講所有の鉦太鼓により、上・中・下の各組の端から中央部に向かって歩いて打ち進め、小社やお堂で奉納し、最後に千川八幡神社で全体が合流して最後の打ち上げを行うものであった。

近年は、移動に自動車を使用し、全町一組で実施している。戦前には「若連中」と称して、四十歳位までの青壮年が中心で盆行事、秋祭り等を担当していた。戦後は、独身青年で構成する青年団が中心となっていたが、昭和二十年代も後半になると経済復興に多忙となり、又、価値感の変化等により、伝統行事はすたれていった。

昭和四十年頃、こうした状態を憂い血気盛んな青年団が活動を再開し、太鼓踊りを復活し、盆踊りも長く取り仕切ってきた。青年団活動が停滞してからは、壮年層が中心となって継承している。



深太鼓踊り



こみの
ポイ捨てはだめ
わがまちをこみのない
きれいなまちに

犬のフンは
飼いが
責任を持ってしましましょう。

